



令和5年度兵庫教育大学大学院同窓会総会・第42回全国研究大会【大阪・奈良・和歌山大会】

8月5日(土)大阪府教育会館(たかつガーデン)において、大学院同窓会総会・全国研究大会【大阪・奈良・和歌山大会】を開催しました。4年ぶりに会場参加のみの開催となり、大阪・奈良・和歌山支部の皆様のご丁寧な準備と運営で、コロナウイルス感染拡大後の参加者の安全を考慮した大会として成功裏に終えることができました。今回は、3支部の共同開催という新しい形の大会となり、今後の全国大会開催のモデルケースとなりました。樋口大会実行委員長様をはじめ、副委員長様、事務局長様を中心に3支部の大会実行委員の皆様にご深くお礼申し上げます。参加者は、総勢83名でした。



13:00 総会

総会は船本秀忠副会長の司会で始まり、新居寛会長、吉水裕也副学長のご挨拶のあと、議事に入りました。審議の結果、規約の改正、令和4年度の事業報告・決算報告、令和5年度の事業計画・予算案等すべての議案が承認されました。途中、会計処理方法で議論が深まり、表記方法を次年度に改良するなど、慎重な審議が行われ貴重な会となりました。

また17名の退任役員の方のご功績に対して感謝状が贈呈されました。



14:10 研究大会

<開会行事>

研究大会は樋口洋三大会実行委員長の挨拶で始まり、加治佐学長、吉水副学長をはじめ、大学関係者8名に参加いただきました。ご来賓は以下のとおりです。

加治佐哲也 学長 吉水裕也 理事・副学長 須田康之 理事・副学長
田中賢一 副学長・事務局長 尾田博明 副学長 高橋信雄 教育研究支援部長
富田明德 附属小学校・中学校長 小林裕大 院生協前期会長



<教育実践研究に係る表彰>

続いて、教育実践研究に関する表彰式が行われました。令和5年度に受賞された皆さんは以下のとおりです。

<役員推薦> 嬉野賞：酒井 喜八郎、樋口 洋三

<教育実践研究論文> 奨励賞：西井 孝明、柳瀬 賢佑、伊藤 良介

<学長講話>

表彰式に続いて、加治佐学長から挨拶を兼ねて講話をいただきました。中央教育審議会の前委員でもある学長から、これからの教員に必要な資質や教員養成フラッグシップ大学となった兵庫教育大学が進める「自律した学習者を育てる教師の養成プログラム TEX」の具体的なカリキュラムや、全国どこからでも勤務しながら学べる「学び方を自由に選べるフレックスクラス」など、兵庫教育大学の未来展望についての貴重なお話を聞くことができました。



<教育実践発表>

続いて3支部からの教育実践発表です。

まず、大阪府支部から「小学校低学年における多文化共生教育の可能性と課題」と題して、立命館大学嘱託講師の山田 文乃先生による発表では、会場参加の大阪支部の皆さんによる劇を取り入れた発表も加わり、大変興味深い内容となりました。大阪で培われ、ご自身の教育実践の中で取り入れられた身近な多文化教育を通して、変わっていく学級や児童たちの様子など、多文化教育の必要性について発表いただきました。

次に奈良県支部から「中学校『特別の教科 道徳』の授業設計—初任者指導教員の視点から—」と題して、奈良県葛城市立新庄中学校指導教員の三宅 康文先生に発表いただきました。道徳の教科化で充実しつつある道徳教材など、道徳を進めるための様々な資料や授業の進め方について紹介いただきました。



途中、本学卒業生と帝塚山大学の学生が紙芝居プロジェクトとして、「言の葉大賞」の優秀作品を紙芝居に作り替えて幼稚園等で上演している活動を、紙芝居の実演を含めて紹介いただきました。

最後に、和歌山県支部から「つながろう湯浅！一人と人がつながる家庭教育支援」と題して、湯浅町立山田小学校 長田 和浩校長先生から湯浅町の家庭教育支援について発表いただきました。支援員による学校との情報交換の方法として、全家庭への組織的な家庭訪問の実施等新しい試みの立ち上げとその成果を紹介いただきました。

3名とも、教育の抱える今日的課題に対する具体的な取り組みで、会場から熱い意見や質問が飛び交う大会となり、今後の教育活動のヒントに富んだ素晴らしい発表でした。

<閉会行事・集合写真>

最後に、岩手県支部の山本勉盛岡大会実行副委員長から、令和6年度「盛岡大会」の案内をいただき閉会しました。来年は盛岡でお目にかかりましょう。

閉会后、参加者全員の集合写真が撮影されました。



<情報交換会>



4年振りの情報交換会

の開催です。研究会の話題はもちろん、コロナ禍の3年間の空白を埋める熱い話題で盛り上がりました。花平ゆきさんの音楽ライブ有り、ユニークなゲーム有りの2時間でしたが、あっという間のひとときでした。

<巡検・奈良国宝館>

翌日の8月6日(日)は、総勢19名参加による奈良巡検が実施されました。非常に暑い中で熱中症が心配される巡検でしたが、皆さん元気で楽しい巡検になりました。奈良公園から興福寺五重塔、国宝館では豪壮な仏像が沢山保存され、当時の生き生きとした時代の雰囲気を感じられました。じっくりと見学した後は昼食会場での最後の交流！です。ここでも話題が尽きず、来年の盛岡大会が待ち遠しいです。



大阪・奈良・和歌山の大会実行委員会の皆様のご尽力によって素晴らしい大会となりました。ありがとうございました。